

人文学研究科 中国言語文化専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

本専攻の博士前期課程は、中国の「言語」、「歴史・文化」の二つの専門分野に関して、創造的研究を行う能力を有する教育者・研究者の育成、及び、今後の知識基盤社会に必要な高度な専門的知識、研究能力、及び外国語運用能力を有する専門職業人の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的等を踏まえ、本専攻博士前期課程では、本学共同研究機関組織である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する高度な専門的知識、研究能力、及び外国語運用能力を有する専門職業人の育成を教育目標としています。

近年東アジアを含む国際情勢が目まぐるしく変化しています。経済大国へと急成長してきた中国との関係は、日本にとってきわめて重要になっています。政治、経済、社会のどの分野においても、良好な日中関係の構築は世界平和のためにも大きな役割を果たすことになるでしょう。いま中国の社会、文化や歴史に深い理解をもち、中国語によるコミュニケーション能力を有する人材が求められています。

本課程では、学部で学んだ専門知識を充実させ、中国語の運用能力をさらに伸ばし、企業や行政、教育機関に必要な人材の育成を目指し、中国、東アジアの言語、社会、歴史、文化に関する専門的知識と研究能力を身につけさせることを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本専攻博士前期課程のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した修士論文が専攻内規に則って審査され合格と判定された者は、以下の能力のいずれかを身につけていると判断され、修士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

(1)中国、東アジアに関する専門的知識に基づいた広い社会的な視野を持つ。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

(1)企業における中国、あるいはその他の東アジアと関わる職務、あるいは教育機関の行政職における専門化する業務内容に対応できる、中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する専門的知識と研究能力、及び研究成果を公表するためのプレゼンテーション能力の基礎を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

(1)博士後期課程への進学を含め、教育・研究機関に所属する教育者・研究者となりうる教育・研究能力の基礎を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本専攻博士前期課程では、中国語圏の「言語」、「歴史・文化」の二つの系に即して、それぞれの専門分野に関する専門的知識、研究能力、言語運用能力を養うため、以下のようなカリキュラム・ポリシーを設定しています。

1. 教育課程の編成・実施

(1)演習科目では、「中国語学研究(演習)」「中国歴史研究(演習)」「中国文化研究(演習)」などの科目を設置し、個別の専門領域における研究能力を身につけるため、指導教授による指導が行われます。

(2)講義科目では、「中国語学研究」「中国歴史研究」「中国文化研究」などの科目を設置し、個別の専

門領域における専門的知識・外国語運用能力・国際的な研究動向を体系的に学ぶため、学生は講義科目を選択的に履修することが求められる。また、中国語圏以外の東アジア地域の言語、歴史、文化に関する専門的知識を身につけるための関連科目も準備されます。

2. 教育の方法と評価

- (1)TA(ティーチング・アシスタント)に就くことで、教育者として教育能力を高める経験を積む機会を用意しています。
- (2)演習科目と講義科目を通じて身につけた専門的知識、研究能力の成果を修了年次に修士学位論文として提出します。修士学位論文作成に際しては、学生は複数の教員による論文指導を受け、公正な審査の下で、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけているかを判定されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学院教育によって培う能力

- (1)中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する研究の基盤となる専門知識と高度な研究能力

2. 本専攻の求める入学者

- (1)中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する研究に必要な中国語の運用能力を有している人
- (2)中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する研究に必要な一定の英語の読解能力を有している人
- (3)中国語圏の言語、社会、歴史、文化のいずれかの各自が志望する専門分野における専門的知識の基礎を有する人
- (4)中国語圏の言語、社会、歴史、文化のいずれかの分野の研究者、あるいは高度職業専門人たり得る資質と意欲を有している人

3. 大学までの能力に対する評価（選抜方法）

- (1)中国語の高い運用能力
- (2)中国語圏の言語、社会、歴史、文化のいずれかに対する高い関心
- (3)中国語圏の言語、社会、歴史、文化のいずれかに関する課題への研究意欲

人文学研究科 中国言語文化専攻

博士後期課程

教育研究上の目的

本専攻の博士後期課程は、大学等の教育・研究機関に所属する教育者・研究者の育成を主要な目的とし、同時に、高度な専門的知識・研究能力を活用して一般企業、ジャーナリズム、行政機関等の業務に従事する能力を有した人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本研究科の教育研究上の目的等を踏まえ、本専攻博士後期課程では、本学共同研究機関である人文学研究所や言語研究センター、非文字資料研究センターの諸活動と緊密に連携しつつ、中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する高度な専門的知識、研究能力、及び外国語運用能力を有する専門職業人、創造的研究を行う能力をもつ研究者の育成を教育の最終の目標としています。

近年東アジアを含む国際情勢が目まぐるしく変化しています。経済大国へと急成長してきた中国との関係は、日本にとってきわめて重要になっています。政治、経済、社会のどの分野においても、良好な日中関係の構築は世界平和のためにも大きな役割を果たすことになるでしょう。いま中国の社会、文化

や歴史に深い理解をもち、中国語を含む高度な外国語によるコミュニケーション能力を有する人材が求められています。

本課程では、学部や博士前期課程で学んだ専門知識を充実させ、中国語の運用能力をさらに伸ばし、企業、行政及び教育・研究機関に必要な有為な人材の育成を目指し、体系的、理論的な知識を教授し、中国、東アジアの言語、社会、歴史、文化に関する専門的知識と研究能力を身につけさせることを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本専攻博士後期課程のカリキュラムにおいて所定の単位を修得し、提出した博士論文が専攻内規に則って審査され合格と判定された者は、以下の能力のいずれかを身につけていると判断され、博士（文学）の学位が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

(1)中国、東アジアに関する専門的知識に基づいた広い社会的な視野を持ち、高度な研究活動を通して社会に貢献する能力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

(1)中国語圏の「言語」、又は「歴史・文化」のいずれかの分野において、大学等の教育・研究機関の研究者として十分なレベルの、自立した研究活動を行う能力、論文作成能力、及び研究成果を公表するためのプレゼンテーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

(1)一般企業、ジャーナリズム、行政機関等の業務において、中国、あるいはその他の東アジアと関わる高度に専門化した業務内容に対応できる、中国語圏の言語、社会、歴史、文化に関する高度な専門的知識と研究能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本専攻博士後期課程では、中国語圏の「言語」、「歴史・文化」の二つの系に即して、それぞれの専門分野に関する専門的知識、研究能力、言語運用能力を養うため、以下のようなカリキュラム・ポリシーを設定しています。

1. 教育課程の編成・実施

(1)演習科目では、「中国語学研究(演習)」「中国歴史研究(演習)」「中国文化研究(演習)」などの科目を設置し、個別の専門領域における研究能力を身につけるため、指導教授による指導が行われます。

(2)講義科目では、「中国語学研究」「中国歴史研究」「中国文化研究」などの科目を設置し、個別の専門領域における専門的知識・外国語運用能力・国際的な研究動向を体系的に学ぶため、学生は講義科目を選択的に履修することが求められる。また、中国語圏以外の東アジア地域の言語、歴史、文化に関する専門的知識を身につけるための関連科目も準備されます。

2. 教育の方法と評価

(1)TA(ティーチング・アシスタント)に就くことで、教育者として教育能力を高める経験を積む機会を用意しています。

(2)演習科目と講義科目を通じて身につけた専門的知識、研究能力の成果を修了年次に博士学位論文として提出する。博士学位論文作成に際しては、学生は複数の教員による論文指導を受け、公正な審査の下で、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけているかを判定されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

1. 大学院教育によって培う能力

(1)中国語圏の言語，歴史，文化の研究の基盤となる専門知識と高度な研究能力

2. 本専攻の求める入学者

(1)中国語圏の言語，歴史，文化に関する研究に必要な中国語の高度な読解能力(現代語，近代語及び古代語)を有している人

(2)中国語圏の言語，歴史，文化のいずれかの各自が志望する専門分野における専門的知識の基礎を有しており，本専攻博士前期課程，あるいは他大学大学院において志望する専門分野の修士学位論文を作成しており，研究能力の基礎を有していることが認められる人

3. 博士前期課程までの能力に対する評価(選抜方法)

(1)中国語の高度な運用能力

(2)中国語圏の言語，歴史，文化に対する高度な関心

(3)中国語圏の言語，歴史，文化に関する課題への高度な研究能力